

令和4年第7回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

令和4年7月28日（木）午後1時59分から午後3時06分

○場 所

筑紫野市役所 301会議室

○出 席 委 員 (4名)

教育長 上野二三夫

教育委員 田代邦夫

教育委員 牛川由美

教育委員 久原寛

○欠 席 委 員 (1名)

教育委員 潮見眞千子

○出 席 説 明 員 (9名)

教育部長 長澤龍彦

教育政策課長 吉開和子

学校教育課長 高木美智子

学校給食課長 倉掛伸夫

生涯学習課長 榎木理恵

文化・スポーツ振興課長 益永晃

主任指導主事 中尾智浩

指導主事 村岡陽子

社会教育主事 田中翔

○出席事務局職員 (1名)

教育政策課
庶務担当係長 山内徳章

○議 事 日 程

1. 教育委員会会議録の承認について

令和4年第6回筑紫野市教育委員会会議録（令和4年6月30日開催）

2. 教育長の報告について（別紙）

3. 報告第2号 令和3年度公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業等の報告について

4. 議案第15号 令和5年度使用小学校教科用図書の採択について

5. 議案第16号 令和5年度使用中学校教科用図書の採択について

6. 議案第17号 筑紫野市立山家幼稚園給食調達料補助金交付要綱の制定について

○部課長の報告について

○その他

○次回の日程 【定例会】令和4年8月25日（木）午後2時00分 筑紫野市役所 301会議室

会議録

○教育長：ただいまから令和4年第7回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。それでは、議事日程の順序に従い、会議を進めてまいります。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いをいたします。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

○教育長：令和4年6月30日開催の令和4年第6回筑紫野市教育委員会会議録について、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については承認されました。

日程第2、教育長の報告の件

○教育長：

・前期前半の学校経営について

・コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みについて

今回、随分と陽性者が多く、夏休み前までに学年閉鎖をした学校もありましたが、毎朝の検温等の取り組みの継続と強化、陽性者に係る対応と、学校、学年、学級閉鎖等の迅速な対応など、学校側の取り組みに対して校長会でお礼を言っております。

・特別支援教育について

「特別支援教育は学校経営の基盤・基礎である」という認識に立って、全教職員が意識を高め、全ての子どもたちが過ごしやすく学びやすい学校に近づいたかどうか、今回は指導主事のほうで各中学校に校内研修会の一環として全教職員に話をもらっています。自校の特別支援教育の方針及びこれまでの指導の在り方を振り返り、課題と成果を明らかにし、さらに教育効果をあげる努力をお願いしたところです。

・校長の3つの管理の進捗について

校長の3つの大きな仕事（運営管理、物的管理、人的管理）このそれぞれの管理はどうだったのか、運営管理は教育活動全般、それから庶務に関する事。物的管理は学校の施設管理、設備管理。人的管理は、教職員の人事管理。こういったことについてしっかりと向き合い次の学期に備えること。

・夏季休業期間中における生徒指導について

コロナ禍で家庭訪問や接触が難しい状況ではあるが、そういう中でも気になる児童生徒への学習支援等を、学年部会等でしっかりと検討し、担任だけにならずに、いろいろと工夫しながら

ら行っていただきたいとお願いをしております。

- ・令和4年度管内教育長会報告（7月13日開催）

所長あいさつ

- ・安倍元総理の死去について

・コロナ感染について・・・第7波の到来。学級閉鎖等も増加。

- ・生徒指導について

直接教育事務所に抗議の電話。令和2年は21件、令和4年は既に36件あります。2年前はコロナ不安から来る電話が主だったが、最近は学校の対応がよくないということでの苦情の電話が多いとのこと。

- ・若年教員の育成について

福岡教育事務所管内4地区（筑紫、糟屋、宗像、糸島）で3年目までの教員で3人退職。

病休者は1年目の職員で6人、2年目の職員で6人、3年目の職員で3人、計15人。

所属学年に任せずに、全体で育成していこうという話がございます。

- ・人事管理班関係

資料1. 管理職等任用候補者選考試験受験者数について

令和5年度任用候補の管理職受験者数。

教育事務所管内任用候補者

校長 小学校106名 中学校53名 計159名（筑紫野市 小学校12名 中学校4名 計16名）

教頭 小学校137名 中学校84名 計221名（筑紫野市 小学校17名 中学校8名 計25名）

主幹教諭・指導教諭

小学校39名 中学校23名 計 62名（筑紫野市 小学校11名 中学校8名 計19名）

- ・教育指導室・教育相談室関係

資料2. 特別支援教育に係るオンラインサロンについて

- ・令和4年度第1回福岡地区不祥事防止対策推進委員会報告

資料3. 令和3年度公立学校教職員の懲戒処分状況について

資料4. 不祥事防止に関する指針について

- ・その他

今、校長会の中では、情報教育にどう取り組んでいるかということで、毎回2人ぐらいの校長に報告をしてもらっているような状況があります。これについてはまた時期を見てお知らせしようかと思っています。

○教育長：ただいまの報告について、質疑はありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ちります。

日程第3、報告第2号、令和3年度公益財団法人筑紫野市文化振興財団事業等の報告について

○文化・スポーツ振興課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ちります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第4、議案第15号、令和5年度使用小学校教科用図書の採択について

日程第5、議案第16号、令和5年度使用中学校教科用図書の採択について

○学校教育課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○田代教育委員：教科書の発行者というのは10者近くあるんですかね。

○教育長：そうですね、はい。

○田代教育委員：全く選ばれていない教科書というのはきっとないと思いますが、それぞれにやっぱりいいと思う中から1冊を選んであるんですよね。

○教育長：そうです。

○田代教育委員：ということは、どういうところに着目して、そのよさを見いだしているのか、大変難しい話だと思うのですけど、例えば自分たちが使ってきた経験からすると、それこそ1年間とか2年間とか使ってみて初めて何かを感じる。それがほかの教科書だったらどうだったかとかいうのは、比較はできないですよね。

○教育長：そこはですね、教科書採択業務を必ず入れていますので、教員の代表と各教科代表で、実際の見本をしっかりと見て、いろいろ検討した結果、調査研究部と採択と両方ありますから、調査研究してこういう内容が分かりましたと。それを基に今度は採択委員のほうで検討して、最終的には教育委員会に上げてきます。今は、筑紫地区の5人の教育長の中で、こうやって会議して決めていく形です。

業者も、技能教科の場合は若干やっぱり発行者が少ないんですよ。反対に、いろんな教科書をつくっている大きな会社もございます。だから、そういう意味では、多少偏りがあるかもしれませんけど、慎重に審議、検討した結果、採択していくというところでいきます。皆さん文科省の検定を通っているわけですので、どこの教科書を使われてもさほど差異はないとは思います。

昔は上巻、下巻とかいって分冊していた教科書が、今は合冊になったりしています。なぜかと
いうと、前に学習したものが復習できないということで。そのために、ランドセルが凄く重たく
なってですね。小学校で8キロとか、中学校になると10キロ超えているとかですね。タブレット
なども入れて帰るとなるとかなり重たいというような状況もございます。やっぱり紙の質がよか
ったり、あるいはページ数が多かったりするとどうしても1冊の教科書の重みが増えてくるもの
ですから、そういう意味では、いろいろと私たちも言える範囲でお願いはしております。

来年が次の小学校教科書の検定になります。ですから、また、恐らくこの8月ぐらいまでに、
文科省のほうに教科書会社は検定本を出していると思います。そのような動きがもう始まっています。
来年度はこの教科書でやっていきましょうということですので、よろしいでしょうか。

○田代教育委員：はい。それとそれに関連してですけど、実はせんだって、この筑紫地区の研究会のテーマにちょっと書かせていただいたんですけど、教科書の紙の質がよ過ぎますね。よ過ぎるがために重たいんですよ。これが何とかならないかなと。例えば漫画雑誌あたりだととても軽いんですけど。あそこまではいかないですが、もっと良質でも軽い紙とかいうのもありますし、それこそ今の重さは、従来分冊にしていたのを1冊にするような傾向にあるのであればなおさらのこと、今の重量を半分ぐらいにするような紙を選んでいただくということを、どこかの段階で検討していただくことが必要じゃないかなと思います。

○教育長：そうですね。

○久原教育委員：検定委員をこの前の年にしたんですよ。はじめは、学校の教科の先生方の代表が集まって話をされて、それから教頭と校長を入れた話し合いがされて、その後、私たち、PTAの方が入ってきて大分して、その後、今度は5市の教育長さんたちということで、相当ずっと中身については随分煮詰めてますので、やっぱりこの地区に合うような、例えば社会なんか特にこの地区にあったような題材が入っているようなものを選ぶとかですね。だから、そういうのは本当に緻密に検討してあるので、中身についてはそれぞれの会社のを対比してありました。

問題として、1回だけ重さのことが出たんですけども、紙質までは出てなかつた部分はあった
と思います。ただ、紙の質とか、要するに子どもたちが見たときに見やすいような中身をつくる
とか、そこら辺まで検討されているので、紙質まではいってないけど、明るさとか鮮明さとか、
そういうのはされていると思いますね。

○田代教育委員：そうなんですね、印刷がすごくきれいなんですね、紙の質がいいから。いかんせん、ただ、その重たいというのがですね。中学生なんかも、ランドセルじゃなくて……。

○教育長：リュックサックでしょう。

○田代教育委員：腰で背負っているような歩き方をしている子がいるんですね。あれはよくない
なと思うんですよ。もっと軽ければ、もっと違う姿勢で歩けるのではないかとも思うんですが。

○教育長：教科書をA4に拡大されたのがですね、あれがまず一つ重たくなった原因で。

○田代教育委員：そうですね。

○教育長：B5だったのがA4になってるから。また、A4が入るようなリュックや鞄ですし、全体がやっぱり重たくなってきてるので。分かりました、その件も話はしておきますので。よろしくお願ひします。

○教育長：ほかに質疑ございませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。

日程第6、議案第17号、筑紫野市立山家幼稚園給食調達料補助金交付要綱の制定について

○学校教育課長：（提案理由の説明）

○教育長：本件について質疑ありませんか。

○教育長：これは、コロナの状況だから今出てきたのかもしれないけど、終息したらこの制度は取消しですか。

○学校教育課長：終息というか、これは緊急経済対策ということなので、今年度内、年度内の3月までのものです。

○教育長：令和4年度の取組。

○学校教育課長：はい。予算の範囲内ということで、今現在、3月までの予算となっております。

○教育長：わかりました。ほかに質疑ございませんか。

○田代教育委員：これは、山家幼稚園だけの話ですか。

○学校教育課長：はい。こちらで定める分は山家幼稚園の分だけということになります。

○田代教育委員：民間のといいますか、私立の幼稚園については、これに似たような措置というのはあるんですか。

○学校教育課長：ただいま担当課のほうで検討されているところでございます。

○田代教育委員：担当課といいますと、幼稚園は学校教育課ではないんですか。

○学校教育課長：私立の幼稚園とかそういったことをおっしゃってますか。

○教育長：こども園とか私立とかを言ってあるのかな。

○教育政策課長：事務を就学前と就学後とで今分けていまして、就学前の児童は保育児童課のほうで保育所、幼稚園を持っておりますので、そちらで検討しております。山家幼稚園は公立なので、教育委員会から外すことができないので、学校教育のほうで見ております。

○教育長：分かりました。いいですか、田代委員。

○田代教育委員：はい、大変な手続が要るんですね。たったこれだけという言い方はおかしいかもしれませんけど、これだけのことをするのに。

○教育長：ひとつのことをするにもいろんな準備がいるからですね。大変だったと思います。

○教育長：ほかに質疑ございませんか。

○（特になし）

○教育長：質疑を打ち切ります。本件を、承認することにご異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：ご異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認されました。以上で本日の議事はこれにて終了いたします。続きまして、各課等からの報告を受けたいと思います。

○教育部長：

私のほうから、今年度、市制50周年記念として、市の特別記念事業ということで、たくさんの事業を計画しております。その関係で、教育部に関連する事業の日程等が決まりましたものだけ今日は報告させていただきます。

まず、50周年記念式典ということで、二部形式で今計画されております。日程が11月6日の日曜日、午後1時からということで決まりましたので、まず御報告させていただきます。前回40周年記念のときも、教育委員の皆様については御案内がなされているといったところでありますので、また正式に決まって、参加者等が決定されましても御案内があるということで御報告でございます。

次に、市民劇ですね。「パーパス！～森の王様とつくしの子どもたち～」ということで、これはプロの劇団、ドリームカンパニーというところが、市民劇に参加される方について指導しながら、今段取りをされております。日程が9月17日土曜日と9月18日日曜日の二日間で実施をするということで決まっておりますので御報告でございます。

このほか「未来の自分へのメッセージ」、これは市内の小学校11校の4年生の児童が、10年後の自分が二十歳になったときに向けたメッセージを学校で作成するという取組です。これは今年の12月までに各学校で作成することとなっております。

このほか、50周年記念給食として、今年は50周年記念にちなんだ給食を提供するということで、現在子どもたちにアンケートを取って、そのアンケートに基づいて、いろんな思い出に残る給食の提供ということで企画しているところであります。これは秋以降に予定しております。

あと、小中学校の写真集ということで、児童・生徒が人文字などを作り航空写真とか集合写真を撮影し、記念冊子を作成するという取組でございます。9月から10月に写真撮影を行って、

記念冊子を作るという取組です。

最後に、今日は小鹿野課長が欠席しておりますので、私のほうから御紹介させていただきます。筑紫野市のお宝もの展ということで、これも市制50周年記念のイベントの一環で実施しているものでございます。7月23日の土曜日から、もう始まっております。先週の土曜日、23日の土曜日から9月25日までということで、このチラシにも書いてありますように、三角縁神獣鏡とか、原田宿のはらふと餅屋の図とか、いろんな貴重な文化財を今回公表して見ていただくということです。この後、教育委員会が終わりましたら博物館のほうに行っていただきて御覧いただければといったところで、御紹介でございます。

以上でございます。

○教育長：ありがとうございました。

○学校教育課長：

・令和4年度筑紫野市教育力向上一斉研修会実施要項について

市内の小中学校の教職員のほうで時間をそれぞれ設定していただきて研修をしていただく分になります。裏のほうにQRコードを載せておりますので、もしお時間ございましたら教育委員さんにも御覧いただければというところでございます。

・令和4年度教育長・教育委員懇談訪問の日程調整について

ここ2年間開催しておりませんが、開催する方向でまたちょっと調整をさせていただきたいと思ひますので、ファクスで、もしくはそのまま返信をお願いいたします。

○教育長：これは、教育委員さんに、都合のつくところに丸をつけてくださいという感じですか。

○学校教育課長：そうです、はい。

○教育長：天拝中ブロックかな。

○中尾主任指導主事：はい、天拝中ブロックと山家幼稚園を今年度は対象にしております。

○教育長：山家幼稚園ね。

○学校教育課長：はい。また後で提出をお願いします。

○教育長：よろしいでしょうか。

○学校教育課長：そのほか、教育委員さんに御案内しておりますが、8月22日月曜日午後1時から日本経済大学のほうで、小学生英語交流会及び中学生英語暗唱・スピーチコンテストを予定しております。

また、御紹介だけにはなりますけれども、8月3日、筑紫野市立5中学校吹奏楽部合同演奏会が文化会館でございますが、保護者の御案内のみとなっております。

以上になります。

○教育長：ありがとうございます。

○学校給食課長：

- ・8月、9月分の献立表について

テーマ献立については、記入のとおりとなりますので御覧いただければと思います。8月26日から給食開始ということで予定をしております。

説明は以上です。

○教育長：ありがとうございました。

○文化・スポーツ振興課長：

- ・スポーツイベントの報告について

7月3日日曜日に、市民水泳大会を開催いたしまして、100名弱のエントリーがあつてあります。また、7月21日から8月10日の夏休み期間中になりますけれども、小学校プール11校で一般開放を行っております。現在、コロナ対策といたしまして入場制限を行っています。従来100名で対策を考えておりましたが、さらに絞って50名とさせていただいておりまして、退場の際にも更衣室でおしゃべりをしないように促した後、短時間で着替えて出していまして、プール内での感染ということは現状では報告は承っていないところでございます。まだちょっと夏休み、お盆前までありますので、気を引き締めて行ってまいりたいと思います。

以上です。

○教育長：8月10日まで一般開放ですね、ありがとうございます。

○社会教育主事：

- ・子どもたちの居場所づくりの報告について

生涯学習課主催のコミュニティセンター主催講座ということで、夏休みの子ども教室等々で、子どもたちの夏休みの宿題を実施していたりだとか、あとはコミュニティセンターや公民館で実施されております。公民館等々の中では実際小学生が教わりに来たときに中学生が来て教えたりとか、そういうことでまた地域の方の見守りも含めて行っています。

やはり家にいると気がめいりますし、宿題もなかなかせずユーチューブを見たりとか、そういうことに走ってしまいがちですし、外に出るのも大変暑くなっていますので、こういったことで市内の子どもたちの居場所として活動しております。

以上でございます。

○教育長：ありがとうございます。それでは、各課等からの報告を終わりたいと思います。続き

まして、その他に移りたいと思います。教育委員の皆様、また部課長からあればお願ひします。

○田代教育委員：1年ぐらい前から、もっと前からかもしれませんけど、教職員の働き方改革ということでいろいろ提案されたりしておりましたけど、何かその後、成果といいますか、取組の中で、例えば先生方の中で、楽になったねという声だとか、こういうところがよくなつたねとかいうような、そんな声が聞こえるような状態になっておりますでしょうか。

○中尾主任指導主事：まだ全校で具体的にどのような成果がというところまで詳細の把握はしかねてますが、ひとつこのコロナをきっかけに、これまで前年度を踏襲していたような主な学校行事であるとか教育活動の見直しも余儀なくされたと。そのことによって再度、目的なりその辺りから活動の精選が行われたというところで、随分学校の行事等を中心にスリム化が今行われている現状ではないかなと思っております。ただ、それが全てではありませんので、これからまた学校の成果等も集約しながら、より一層進めていく必要があろうかと思います。

○田代教育委員：ある意味、そのコロナがために非常に分かりにくい状態にあるというところですね。ただ、このことがきっかけとなって、いろんな方向に向かうのか、終息した後にまた元に戻ってしまうのかというのは、ちょっと分かれ道みたいな状況にあるようなものですかね。

○中尾主任指導主事：コロナということで申しましたが、もう一つ昨年度から本市でもG I G Aスクール構想に基づいたタブレットの導入、これもやはりコロナが大きな追い風だったのではないかと思っています。そういうものが導入されたことで、例えばこれまでアンケートを子どもたちに取ったものは全部手作業で集計していたものが、データベース化されやすくなったりであるとか、これは保護者のアンケート等も含めて、非常に各学校が工夫しながら、I C Tを使つた業務精選、短縮というところですね、そういう動きが出てますので、恐らく元に戻るというよりも、新しい学校の在り方に向けて、新たに始動していくのではないかと思っています。

○教育長：コロナが終息するまでにはもうしばらくかかるかもしれません、いろんな方面から、元に戻らずに、また別の新しい方向にと今主任が言っていましたけど、多分そうなっていくんだろうと思います。よろしくお願ひします。

○久原教育委員：今言われたような利点はあってるだろうと思うんですけども、まだまだ課題もあるんじゃないかなと思います。例えば一番大きいのはやっぱり中学校の部活動で、社会体育に移行とかいう話も出ていますけど、非常に厳しい問題があるんだろうと思います。そのほかにもいろいろまだ解決しなくちゃいけない課題が随分あるかなというふうに思っていますので、そこら辺の整理も必要なかなという気はしております。現在できている部分と、今から課題としてしなくちゃいけない部分、これは国の施策等も併せてのことが多いのかなとは思いますけど。

だから、そこら辺をしていかないとなかなか難しい、働き方改革の部分は。今までやってきて

非常に、教員の考え方の違いもあって、随分遅くまで残って仕事をしてきた人も随分いますしね。だから、そこら辺をもう少しこう具体化していく必要もあるのかなという気がしておりました。

○教育長：分かりました。一応国ベースで、県ベースでプランができていますので、日程はですね。あとはそれを受けながら、市独自の部分も織り交ぜてこれから進めていこうと思っていますので、よろしくお願ひします。

○教育長：ほかに質疑ございませんか。

○教育部長：すみません、1点ちょっと報告が漏れておりましたので。6月議会の初日に補正で可決いただいた取り組んでおりました図書カードの支給事業ですけども、7月15日に発送が済んでおりまして、7月末ぐらいまでは全家庭に届くのではないかといったところで報告でございます。

○教育長：ほかに質疑ございませんか。

○牛川教育委員：先日テレビを見ていて、給食時間が短いということについて、生徒のほうからテレビ局に取材をしてくださいというコーナーがあったんですね。本当に給食の準備を「急いで」って言われながら、でも「廊下は走らないで」って言われて、準備をしても給食を食べる時間が10分ほどしかないという福岡市内の給食、中学校の給食についての現状を、生徒さんがテレビ局にこういう現状なんですということを訴えて取材されていたんですが、ただ一つ気になったのが、その学校のカリキュラム的に時間が短いのはしようがないことなんだけれども、それを、学校の先生も、ほとんどの生徒さんも、仕方がないだったり、気づいてなかつたという現状があるのかなという。一部の生徒さんが気がついて、学校の先生とか教育委員会とかというところではなく、テレビ局にそれを、おかしい、こんななんだよ、取材してほしいんだよという訴えをしたというところがちょっと問題なのかなと思います。

というのは、それが、あまりにも給食時間が短いので給食が食べ切れないので残す、だから残菜があるという現状も同時に報道されていたので、そういうところが隠れた問題として、誰も問題視していない問題もあるんだなど。

子どもたちに聞いてみたところ、本人も問題とは思ってなかったんですけど、確かに中学校の給食の時間自体は短いとは言っていました。ただ、それが当たり前だと思っていたので問題とは考えてなかつた。でも、食べれないから確かに最初から減らすということは多々あったということを聞いたので、隠れた問題があるのだなど。ちょっと機会があれば、そういう現状があるのではなかろうかという調査をすることもあってもいいのかなと思いました。

○教育長：なるほど。実際中学校にいた村岡先生、どうですか。食べる時間は短いですか。

○村岡指導主事：15分ぐらいはあると思うんですけども。ただ、準備の時間が、4時間目が例えば移動教室であったりすると、給食エプロンを着るためにまた教室に戻って、それから着替えて、

そろえてとなると、やっぱり日によって準備にかかる時間が長かったり短かったり、それによつて食べる時間の確保というところが少し出てくるのかなというふうに思います。

○久原教育委員：特に聞くのは、移動が多いからですね。小学校は教室が多いけど。そうしてみると、みんなが給食配膳室に行くでしょう、そこで順番になるから、やはり時間がかかるんですよ、準備の時間に時間がかかるんですよね。

○教育長：準備ですよね。やはりきちんとマスクとかキャップとかしてから行かせますから、そういういたところの体制が、時間があればいいけど、今言われたように、どうしても移動教室とかあるとばたばたですね。まあでも、15分はあるということですので、決して短いほうではないかとは思いますけど。5分って大きいですよね。

○牛川教育委員：大きいです。

○久原教育委員：早く食べて、早く昼休みに遊びたい子もおるしですね。

○教育長：そうですね。

○学校給食課長：案といいますか、以前の状態で、やはり中学校でいうと基本的な給食時間が30分で、30分の中で準備も片づけもというふうにはなっていたんですけど、それがコロナで、配膳室に密をつくらないというところが、やっぱりそこの時間を窮屈にしている一つの要因ではあるのかなというふうには思います。

確かに子どもさんの立場で言えば、もう少し時間があればもう少し食べられるのにという考え方もあるんでしょうけど、じゃあそれをどこまで延ばすのかなというのもやっぱり、その学校でまた考えていただくようなことになるのかなというふうには。あまりこちらのほうで、こうしてくださいという話でもないのかなというふうには思ってます。ほかの授業とカリキュラムの関係もあると思いますし。

○教育長：そこはやっぱり弁当と違うんですね。各自が持ってくる弁当と、給食といったらまたそろえないといけないから、どうしても時間の制限が出てきますからね。でも、筑紫野市は全体が給食なので、本当に改革しようと思えばできないことはないと思いますが、できるだけ学校の自主性に任せてある面、その時間帯についてはきちんと取るように、確保するようにお願いしましょう。

今度また、給食訪問は10月ですかね、11月かな。

○学校給食課長：一応10月に行うように進めようと思ってます。

○教育長：子どもたちと一緒に食べながら質問とかもしてください、またいろいろと関係することも含めて。

○田代教育委員：小学校で弁当の日というのを設けてありますね。あれはどこも、全小学校で設けてあるのですか。

○中尾主任指導主事：恐らく全校で、年に1回2回、いろいろな行事と合わせてしているのではないかと思います。

○教育長：筑紫小学校もしてあったかな。

○中尾主任指導主事：はい、しました。ただ、時期的なものだったり、コロナ対応等で少し減らしたりとか、そういう調整は入っていたかと思いますが。

○教育長：それは給食がない日にするのかな。

○中尾主任指導主事：そうです。土曜日の参観と合わせてみたりとか。

○田代教育委員：二日市東では平日に、普通の日にしてましたね。それで、年に1回か2回かだからなんでしょうけど、見守りしていると、登校して、忘れたと言って帰る子がいたんです。そういう子がいるわけですね。

○教育長：そういうことがあるんですね。

○学校給食課長：あります。学校ごとにいつ給食を食べてくださいという話ではなくて、年間で約200日調理場は稼働していますので、学校のそれぞれのイベントに合わせて、予定に合わせて、その中から、1年の中で200日のうち最大190日を選択して、給食を食べる日を選んでくださいというようなやり方をやっています。ですので、そういう平日にお弁当の日をされるということは、別の日にもまた何かそういったことで、それでトータルして190日以内に収めてあるという、年間の行事の考え方だろうと思います。

○田代教育委員：分かりました。

○教育長：ほかに質疑ございませんか。

○（特になし）

○教育長：これをもちまして、令和4年第7回筑紫野市教育委員会定例会を閉会といたします。